

豪雨で被災 輪島 町野地区のスーパーが本格的な営業再開

ことし9月の豪雨で被災した石川県輪島市の町野地区で、地区にある唯一のスーパーが30日、およそ2か月ぶりに本格的な営業を再開しました。



営業を再開したのは、輪島市町野地区にある「もとやスーパー」です。

30日は店の関係者や地区の人たちが集まってセレモニーを開き、地震や豪雨で亡くなった人に1分間の黙とうをささげました。

営業が始まると店内には豪雨災害のあと初めて仕入れたという鮮魚や生野菜のほか、地震の前とほぼ同じおよそ1500品目の商品が並べられ、訪れた住民が次々と買い求めていました。

町野地区で唯一のスーパー「もとやスーパー」は元日の地震で被害を受けたうえ、9月の豪雨では2メートルの高さまで浸水して建物や設備が大きな被害を受け、休業を余儀なくされました。



ボランティアの協力も得て復旧作業を進め、11月11日の仮オープンを経て30日、およそ2か月ぶりに本格的な営業再開を果たしました。

きょうだいで訪れた小学5年生の女子児童は「店が再開して、地域の人が愛している姿を見ることができてうれしいです」と目に涙を浮かべながら話していました。

本谷一知代表は「住民が安心できるように地区が孤立状態になる雪のシーズンの前に再開したいと思っていたので、うれしく思います。今後は宿泊施設なども整えて多くの人を楽しめる場所にしていきたい」と話していました。